

2021年10月27日
株式会社ミラテクドローン

**多機能な純国産レスキュードローン、11月1日より受注受付開始
～10月27日から開催されるJapan IT Week 秋に出展～**

株式会社ミラテクドローン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：佐々木 康之、以下、ミラテクドローン）は、2021年11月1日より、様々な機能を搭載した純国産機レスキュードローンの受注受付を開始します。また、10月27日から開催されるJapan IT Week 秋において、公開します。

ミラテクドローンが提供するレスキュードローンは、東光鉄工株式会社（本社：秋田県大館市、代表取締役社長：菅原訪順）が開発・製造したものです。

東光レスキュードローン®TSV-RQ1はIP55の高い防水性、風速18m/sの耐風性能を実現し、有事の際や災害発生時の一刻を争う過酷な現場で、天候に左右されることなく、フライト可能な機動性に優れたマルチドローンとなります。

また、ドローンの『頭脳』とも言えるフライトコントローラーはセキュリティにおいても信頼性の高い純国産性が採用されております。

さらに、空気抵抗の少ない流線型ボディは、二重モノコック構造※になっており、これまでの大型機にないスマートな『デザイン性』と『気密性』（浮沈構造）を併せ持ち、加えて将来的には5G環境下においては、現地の状況を高画質でリアルタイムに配信できる機能を実装予定です。

なお、オプションとして、暗闇でも昼間のような明るさをキープする『超高感度/赤外線一体カメラ』、夜間の出勤時に活躍する『高輝度LEDライト』、100m上空から地上へ情報伝達可能な『ハイパワースピーカー』、運搬最大可能重量2kgの『物資リリースユニット』を用意しております。

ミラテクドローンには、この高度な操縦技術を要するパイロットが8名おり、要請に応じ出動するとともに、レスキュードローンを導入する団体に向け、導入教育（研修）を提供して、よりの確に使用することができるようアドバイスします。また、ミラテクドローンでは、災害対策を行っている全国の自治体をはじめ、通信キャリアを主な対象に、レスキュードローンの製品提供、導入教育（研修）、パイロット派遣などを通し、2022年までに5億円の売り上げを目指しています。

なお、ミラテクドローンは、10月27日から29日の3日間にかけて開催されるJapan T Week 秋に出展し、レスキュードローンを初披露します。同展示会においては、ミラテクドローン代表取締役社長佐々木 康之が、セミナーにて同製品の特性や優位性について説明する予定です。

製品の概要は別紙のとおりです。

※フレームのない特殊2重モノコック構造により機体強度と軽量化を実現

【本サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社ミラテクドローン

事業戦略部 荻内、川崎

TEL : 03-5496-5851

URL : www.miratecdrone.co.jp

名称：レスキュードローン TSV-RQ1



基本構成（スペック）：

項目	使用
フライトコントローラー	国内製フライトコントローラー
サイズ	アーム展開時：ローター間 1100mm 高さ 491mm 折りたたみ時：840×620mm 高さ 491mm
ローター数	4 個
最大離陸重量	12kg
本体重量	6.1kg (バッテリー無し カメラを含むオプション品無し)
最大ペイロード(機体)	3kg
バッテリー	タイプ Lipo6s 容量 22Ah 使用回数 1 個
プロペラサイズ	28inch
最大伝送距離	5km ※屋外かつ障害物無しの環境下
最大速度	60km/h
最大飛行時間	35 分 (ペイロード無し)
最大飛行可能風速	18m/s ※樹木の大枝を動かし、看板やトタン板が外れ始める程度の風
防塵・防水性能	IP55 ※若干の粉塵の侵入があっても正常な動作を阻害しない ※いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない

浮力	1 時間 (バッテリーあり カメラを含むオプション品無し)
FPV カメラ	Full HD

オプション：

項目	仕様
物資運搬用リリースユニット	運搬可能最大重量 2kg
高輝度 LED ライト	8000lm
ハイパワースピーカー	30w
超高感度カメラ	ISO100 万相当 光学最大 31 倍 デジタル 32 倍ズーム
赤外線カメラ	640×480VGA フォーマット高分解能高画素サーモカメラ

以上